

## 二つの文化の合流点で生きる「J」と

金沢大学の学生の金美香（キムミヒヤン）といます。

大学での専攻は中国文学です。大学で中国語を選択したのは、中国は朝鮮に影響を与えてきた国なので、どういう国か知りたかったからです。ハングルは家で母に習えばという思いがあったので、大学ではハングルを選択しませんでした。でも実際には、私のなまけ心と母の多忙のために、ハングルは勉強できません。それで、ハングルはかたことぐらいしかしゃべれません。

母は在日二世です。母方の祖父と祖母が戦争中に朝鮮から日本へ渡り、それから小松の方へやってきて、そこで定住したんです。戦争が終わったときに帰ろうと思ったけれど、動くに動けなくて帰れなかったと聞いてます。伯父さんたちはみんな日本人と結婚して帰化していますが、祖母は母には帰化して欲しくないと思ったようでした。母も、帰化しても朝鮮人でなくなるわけではないし、朝鮮人から逃げるわけには行かないと私に言っています。せっかくだから日本にいるのだから、一回で二度おいしいという言葉があるけれど、それと同じように考えてやっていかなければいけないよと、よく母に言われています。

小学校の時、私は身体が大きくておっとりしていたので、いじめられるということはなかったのですが、妹は身体が小さくて、まわりにつっかかる方だったので、よくいじめられていました。なぜ、朝鮮人だということできじめられるのか、妹と話していたことを思い出します。

私の本名は金（キム）ですが、ずっと通名つうめいでやってきたので、差別はあからさまにやってきました。しかし、本名を名のっていると激しい差別に出会うと思います。私も本名を名のろうかと考えてはいるんですが、今まで通名を名のってきたし、卑怯ひきょうといえは卑怯なのですが、その方が楽なのです。気持ち的につらいところはありますが、通名を名のっていた方が日常生活では楽なんです。ずるいなあと思いつながら通名を名のっているのです。本名を名のれるようになるには、まだまだ日本の社会は未熟だと私は感じています。

今、大学四年なので就職活動をしているのですが、父や母に「銀行は朝鮮人はとつてくれないから止めなさい」と

言われて、初めから願書を出しませんでした。私も銀行とかは性に合わなかったので、出す気持ちはありませんでした。でも、在日の人で銀行や証券会社に入りたい人がいたなら、それはつらいことだと思えます。

会社訪問は書店などの事務系を中心にまわりました。会社訪問した企業に「私は在日朝鮮人ですけれども」と言ったら、「そういうことは気にしていません」という会社が多かったように思います。でも、結果は私の力不足のためか内定はもらえませんでした。また、本当は怖くて行けなかった企業もあります。

それで、まだ就職先がありません。本当にやってみたいことを、三年間くらいチャレンジして実現できなかつたら、あきらめて別の職を探そうと思っています。

日本人の高校生で、友だちから「自分は在日朝鮮人なんだ」ということを聞いて、初めて本気で在日の問題を考えはじめたという話があります。本当は自分達の問題として考えなければいけないんだけど、今まで知らなかったということ話を話していました。また、ある在日朝鮮人の子がこんな話をしてくれました。「日本人に何を話したって結局は分かってもらえないと思っていた。だけど、先生方や友だちが何度も語りかけてきてくれるので、少し

は分かってくれるのだなということが分かった」と。

私の場合、友だちはみんな日本人です。親しい子には自分のことを話しますが、なかなか深く話を聞いてくれる人は多くありません。でも、私が本当にこれからやっていかなければならないのは、まわりの日本人に分かつてもらえるように、自分の方から在日の問題を言うていくことだと思っています。そしてまた日本人も、私たちに呼びかけてほしいなあと思っています。

私のまわりには日本の文化があふれています。だからこそ母や父からは朝鮮の文化を受け継いでいきたいと思っています。そして、私たちが在日朝鮮人はどうやって生きていくべきかを改めて考えることが必要だと思っています。自分が在日朝鮮人だということに負い目を感じて生きていくのではなく、せっかく二つの文化の合流地点にいるのだから、楽しんで生きていかなきゃいけないと思っています。



# 二つの文化の合流点で生きること（中学校向け）

## A 教材設定の意図

北朝鮮のミサイル実験で、日本国内の朝鮮民族学校の生徒に対する嫌がらせが起きた。かつての核疑惑の時も同様な事件が起きたことがある。もちろん北朝鮮がミサイルを発射したことについて、民族学校なり、その生徒には何の責任も関わりもないことのだが、こういうことが起きるたびに朝鮮人に対する差別意識が、まるで大義名分でも得たかのように吹き出してくることに、同じ日本人として心の貧しさを感じずにはいられない。

生徒たちの多くは、身近に在日朝鮮人が住んでいることを知らないだろう。知っているとしても、その存在はおとなの差別的な目を通して知らされることが多いかもしれない。もしそうだとすれば、それはお互いにとって不幸なことである。

この教材では、金美香さんの話から「在日」を生きる人々の抱えている問題を、彼らの問題としてではなく、日本人の側の問題として考える意図で設定した。つまり、在日朝鮮人の思いを知り、それに共感していくことは、私たち日本人自身の心を豊かにし、解放していくことにつながるのである。

## B 教材の解説

この文章は、一九九五年当時、金沢大学の四年生だった金美香さんが、在日朝鮮人の子どもたちに自分のことを語った話を

まとめたものである。

金さんは、高校まで福井県で過ごし、金沢大学に入学してきつた。入学後、在日朝鮮人や、その問題をいっしょに考えていこうとする日本人との関わり、さらに一全国在日朝鮮人教育研究会」などに参加し、同じ年代の人たちと交流する中で、在日朝鮮人として自分のことを考えるようになった。

本文中にあるとおり、彼女は本名を名のっていない。一見それは彼女の逃げのように見えるが、それは受け入れようとしないう日本社会の差別性であり、日本人の側の問題としてとらえなければならぬ。それくらい、私たちは在日朝鮮人のおかれている位置から離れた位置に位置を認識しなければならぬ。金さんは、帰化のこと、本名を名のこと、就職のこと、揺れながらも、「在日」を生きることを前向きに受けとめ、たくましく生きていこうとしている。そのためには、「話しても分からない」と思うのではなく、自分から「在日」の問題をまわりの日本人に投げかけていかなければという決意を語っている。彼女の思いを深いところで受けとめられる日本人になりたいものである。

## C 指導上の留意点

① クラスに在日朝鮮人の生徒がいる場合は、事前に授業を行うことを伝え、その生徒の思いを聞き取っておくことが必要

である。

② 用語の解説については、発問に関わる場合は説明し、その他のものは生徒からの質問があれば答える。(用語の意味等については参考資料参照)

③ 傍線部の発問については、時間の範囲内で選択して取り上げてよい。

## D 参考

### ① 在日朝鮮人

日本国籍を持たないが、日本に定住する朝鮮民族の人たちを呼ぶ名称。日本に住む外国人はすべて「在日〇〇人」と言えるが、戦前からの日本と朝鮮の歴史の中で、日本に移り住み、これからも日本に定住する人々をいう。国名として「在日韓国・朝鮮人」という場合もあるが、ここでは民族名として在日朝鮮人という呼称を使った。

### ② ハンゲル

朝鮮民族固有の表音文字。一四四三年、李朝の世宗が漢字に代わるものとして制定。アルファベットのような表音文字でありながら、漢字の原理をたくみに取り入れ、母音字と子音字を組み合わせて音節単位に書くのが特徴で縦書きも横書きもできる。「偉大な文字」という意味がある。

### ③ 在日二世

日本に移住した朝鮮人の多くは、主として明治以降の日本の植民地政策により、土地を奪われ、祖国を離れて日本に移り住むことを余儀なくされたり、強制的に日本に連れ

てこられたりした場合が多く、一九四五年には約二三十万人にもものぼっていた。これらの人々を一世という。日本の敗戦によって祖国が解放され、約一四〇万人が帰国した。しかし、在日の期間が長く、祖国に生活の基盤がなくなっていた人々は帰国できずに、日本に残らざるを得なかった。これらの人々の子どもが在日二世である。

### ④ 帰化

今までの国籍を捨て、他の国の国籍を取得すること。一般に国籍につけ方には二通りあり、アメリカなどのように生まれた土地の国籍を取得できる生地主義と、日本や韓国のように父母の国籍を受け継ぐ血統主義がある。外国人が日本に帰化する場合は、国籍法の定める要件を満たしたうえで、法務大臣の許可が必要になる。このとき「日本人」になりきっているかどうかという審査があり、帰化をすることは国籍の変更だけにとどまらず、「朝鮮人である自分」を捨てるものと同じだと考える多くの人々がいる。

### ⑤ 通名

在日朝鮮人は朝鮮語の本名をもっているが、日本社会の中では通名(日本名)を使わざるを得ない状況がある。特に就職にあたっては、本名で働けるような職場はまれといってもよい状況にある。県内の学校でも、本名を名のって通学している生徒はごく少ない。

E 授業の展開例

教師の基本発問・助言	生徒の活動・指導の要領
<p>一 導入</p> <p>① 日本に住む外国人で、一番多いのはどこの国の人でしょう。</p> <p>二 展開</p> <p>② 教材文を読む。</p> <p>③ 傍線部について発問する。</p> <p>a 金さんの母親が言ったことをどう思いますか。</p> <p>b 本名を名のれないことについてどう思いますか。</p> <p>c こう言われたときの金さんの気持ちは、どんなだったと思いますか。</p> <p>d なぜ金さんは怖くて行けなかったのでしょうか。</p>	<p>① 韓国・朝鮮人が約七〇万人でもっとも多いことを確認する。状況に応じて他の導入の仕方があってもよい。</p> <p>② 教材文の背景を説明し、用語については質問があれば答える。</p> <p>③</p> <p>a 帰化について意見を出し合う。帰化を望む朝鮮人が多いことは、在日を生きることの困難さととらえたい。</p> <p>b 「名のつても差別はない」「何で差別されるのか分からない」「なご生徒から出ることが予想されるが、本名を名のると差別されることを金さんは恐れていることをおさえたい。</p> <p>c 「安心する」や「本当にそうだろうか」などの思いを出させながら、金さんの不安を感じ取らせたい。</p> <p>d 朝鮮人だからとあからさまに言われて就職を断られることを恐れたことをおさえたい。</p>

e 「分かる」というのは、何を分かること  
なのでしよう。

### 三 まとめ

④ あなたのまわりに金さんのような思いをも  
っている人はいませんか。

e 在日朝鮮人が、どういう思いでこの日本の社会の中で生きている  
かを受けとめることであり、それは日本人の側の問題として考え  
なければいけないことであるとおさえる。

④ 「在日朝鮮人」ということだけではなく、思いを分かかってほしいと  
願っている仲間がいないか考えたい。また、在日朝鮮人の生徒がい  
る場合は、事前に話をしており、発言させたい。

### 本教材を使った授業から

◆ 指導案に沿って展開の③までやったが、④⑤へは入れな  
かった。自身の友人の帰化のことも話して、より具体的な事  
例をも話した。生徒らは、未知なることに出会ったような表  
情だったが、日本社会にいる在日韓国・朝鮮人の存在を知っ  
たようだった。国際理解、違った民族との出会いを考えるき  
っかけになったと思う。(珠洲)

◆ 社会科で、韓国併合などの歴史を勉強しているので、小学  
校でも「二つの文化の合流点で生きること」という教材は使  
えると思いました。日本人の韓国の人たちに対する差別につ  
いて、初めて知った子どもも多く、改めて、人間が人間を差別す  
ることはいけないことだと感じた子どももいたようです。(石  
川)

